

平成30年度第2回神戸市の国民健康保険事業の運営に関する協議会

1. 日 時 平成31年2月9日(土)午後1時30分～午後2時55分
2. 場 所 スペースアルファ三宮会議室
3. 出席委員 神戸市の国民健康保険事業の運営に関する協議会委員
(敬称略 23名中20名出席)
公益代表 しらくに、徳山、吉田、足立、中田、
奥原、西網
保険医・保険薬剤師代表 置塩、白、村岡、梅本、伊藤
被保険者代表 中島、高、玉田、吉澤、井上、浅井
被用者保険等保険者代表 北川、篠原
オブザーバー 神原
神戸市(事務局) 三木保健福祉局長、清家総務部長、
熊谷健康部長、山崎調整担当部長、
三木健康創造担当課長、
野崎国保年金医療課長、
有原国保適正化担当課長、
久保(兵庫区)保険年金医療課長、
田守神戸大学大学院医学研究科教授
4. 議 題 (1)平成31年度 神戸市国民健康保険事業(案)について
(2)MY CONDITION KOBE(市民PHRシステム)について
(3)平成31年度 神戸市国民健康保険料について

I 平成31年度 神戸市国民健康保険事業（案）について

II MY CONDITION KOBE（市民PHRシステム）について

●事務局 資料説明

（質問等）

○委員

S I Bを活用した糖尿病性腎症重症化予防事業について、生活習慣が改善したか否かは、どのように判断したのか。

●事務局

この事業を実施した事業者が使っていた指標によるものである。アンケート調査のようなもので、無関心期、関心期、行動実践期というステージの変動を確認し、高い率を得た。関心がなかった方に関心が生まれ、実際に行動に移すことができた。

○委員

特定健診の結果で腎機能低下抑制率を評価し、結論を出すのか。

●事務局

来年度は、まずeGFRをはかり、今回のプログラムを提供したグループと、保健指導を受けなかったグループとの比較をする予定である。

○委員

I C Tを活用した保健指導について、アプリでの保健指導というのは、法律上の保健指導にあたるのか。

MY CONDITION KOBEについて、地方公共団体へどのようにデータを提供するか問題であるが、その一歩先の経済界の民間企業に、センシティブな健診データを渡すという、情報セキュリティの対策については、どのように考えられているか。

●事務局

オンラインを活用した対面での面接による特定保健指導は、国でも認められているため、それをまず一番初めに行う。その後、電子メールやチャット機能、電話等で積極的支援相当の特定保健指導は可能である。

また、動機付けについても、まずはオンラインを活用した面接を実施し、その後評価を行う予定である。

●事務局

特定保健指導は、なかなか継続することが難しいので、対面式の特定保健指導をまず行

い、それ以降は、定期的にデータを入力すれば、アルゴリズムベースでアドバイスが出てくる仕組みである。

セキュリティに関しては、個人のデータを、匿名化せず民間企業に提供することは、個人情報保護条例に抵触するため不可能である。そのため、民間企業に生データが流れるということはない。ただし、今後、社会的に情報の利活用というのが進んでいった場合は、セキュリティを担保しながら柔軟に対応できるよう、今のうちから考えていきたい。

○委員

例えば、特定健診の受診率である三十数パーセントというのもすごいデータだと思うが、神戸市では、このデータを分析した結果を、以降の保健事業にうまく活用しているのかというところをまず伺いたい。

●事務局

昨年度第2期データヘルス計画を作成し、それに基づき、平成30年から35年の計画を立てた。これは、特定健診のデータや、レセプトデータを活用して、神戸市の国民健康保険加入者の健康状態を分析したものである。これをもとに、特定健診の受診率向上対策や、特定保健指導の実施率向上対策、生活習慣病重症化予防対策、人工透析予防対策などを掲げて、保健事業を進めている。

○委員

神戸市の中のデータだけではなく、ほかの自治体や全国と比較し、神戸市の特徴を把握した上で、それを保健事業に適用しているのか。

●事務局

他都市や、国・県等の比較をしている。

○委員

特定健診の問診票を見ると、その方の生活習慣、例えば、運動、食生活、喫煙の有無、睡眠等がわかるが、それも十分に吟味して、今回の保健事業に活用されているのか。

●事務局

神戸市国保の特定健診受診者の特徴としては、運動習慣、身体活動、歩行速度等、すべてにおいて全国や兵庫県よりも良好な結果だった。また、生活習慣の改善意欲や保健指導の希望のある人も、全国・兵庫県を上回っている。それにもかかわらず、特定保健指導を受ける方が、かなり少ない現状であるため、特定保健指導の必要性をもっとPRしていくことや、ICTを活用した保健指導等の、利便性がよく、参加しやすい保健指導を今後も

進めていきたいと思っている。

○委員

MY CONDITION KOBEについて、40歳以下の方の健診データは、今後どのようにして集めていく予定か。

●事務局

神戸市では、30歳健診を実施しているため、まずはそのデータを集める。国民健康保険以外の保険者の方に関しては、このアプリは、スマホのカメラをかざすと紙の健診結果を自動的に読み込むような機能があるので、そうしてデータを集めていく予定である。

○委員

非常にいい計画で、いいシステムだと思うが、健診結果を渡してもなかなか見ていただけないような中で、あえてスマホでアプリをダウンロードしないといけない。例えば、アプリをダウンロードすることや、ログインすることにインセンティブをつける等、まず使っていただくきっかけにインセンティブを付加していくということも必要だと思うので、今後とも考慮してもらいたい。

これは、健康保険組合の加入者でも神戸市民なら使えるのか。

●事務局

この基盤は理研が全国のモデルになるようつくった。

このアプリは、非常に科学性の高い保健指導ができ、ある程度既存のデータから解析して、適切な保健指導を仕上げる。

これは神戸市民であればデータをひも付けることができるが、問題は、運営費が非常に高いことである。これについては、健康保険組合や協会けんぽの方に、ぜひご協力をいただきたい。当面は、神戸市国民健康保険と介護保険と生活保護とする予定だが、実は国保の加入者のうち若い世代の比率が下がっており、そういう方々は健康保険組合や協会けんぽに入っているのので、ぜひ共同事業として行っていきたいということを改めてこの場で申し上げたい。

○委員

協会けんぽは3,700万人のデータを持っているので、特に個人情報の部分について、非常にセンシティブな問題がある。また、自分の意思でアプリを使ってデータをいれるということは、これは個人の責任だととらえられるが、その後、例えば、なぜ民間企業が私の情報を知っているのか、となったときに、我々にフィードバックされるのが一番怖い。

費用の問題については、協会けんぽは中小企業が中心で運営しており、国の税金も16.4%導入されている。事務局の言うことは非常にわかるが、費用分担という部分では、協会けんぽの兵庫支部は、神戸市民だけでなく、兵庫県民を考えていかないといけないので、努力はしたいが、なかなか難しいと思う。

●事務局

住民基本台帳の情報は出せないなので、我々のほうで特定化してひも付けし、そのデータを外部に出すときは、匿名化する。しかも、これは、基本的に研究用のデータを出すということで、倫理委員会も立ち上げているため、ぜひご理解いただきたい。

これは個人単位で入るのが原則で、例えば、協会けんぽがこのMY CONDITION KOBEに入り、かつ、特定保健指導の必要がある方に、我々が保健指導をこのアプリ上で行った場合について、共通経費を分担いただくというのは、普通のことだと思うので、ぜひ上層部のほうに上げていただきたい。そうでないと、同じ神戸市民間で不公平が生まれ、我々も非常に困るので、積極的に話を進めていただきたい。

Ⅲ 平成31年度 神戸市国民健康保険料について

●事務局 資料説明

(質問等)

○委員

保険料の収納率は、100%として見ているのか。

●事務局

収納率は、実績にあわせており、現在、神戸市の収納率は93%台であるため、その率を設定した上でこの保険料の率を計算している。

○委員

次の予算として、保険料の収納率のための予算が1,800万円ほどついているが、これで収納率は向上するのか。

●事務局

最終的な保険料の設定をする5月時点において、収納率を高く見込むことができれば、保険料の率そのものを下げることができるので、今年度、来年度にかけて保険料の収納対策というのを積極的に実施してまいりたい。ただ、実際に実現不可能な設定はできないため、実績そのものを上げていくことに努めてまいりたい。

●事務局

神戸市は、初期末納者に対しての電話催告に、なかなか手が回っていない現状である。保険料の納期が過ぎると督促状を送っているが、それでも支払いされない方が、3,000人から7,000人ほどいる。こういう方に対して、電話により納付の案内をするということを集中心で行いたいと思っている。

もう一点は、外国人留学生の国民健康保険料について、日本語学校に協力いただき、納付につなげていきたいと考えている。外国人の国保加入者が非常に増えており、その中でも、特に留学生の方の保険料収納率が低い。今のところ、行政との窓口となる対象として、日本語学校が考えられるので、日本語学校と契約を結び、留学生の方の収納率を高め、これらによって全体としての収納率を高めていきたい。